

20 みんなで作ろう！「明日のピース」

～ 障害のある方々とアート作品をつくってみよう！～

○開催目的

ボランティアフォーラム TOKYO2016 の全体テーマは「私たちがつくる あしたのピース」。戦後70年、“平和”が叫ばれている今、誰もが市民の一人、つまりワンピースとして、地域社会を自らつくりあげよう、そんな思いが込められています。

日頃から芸術活動を行っている知的障害を持つ方々と一緒に、あなたの“ワンピース”を作りませんか？

来場者のみなさんにもご協力をお願いし、大きな作品にしたいと思います！

※ できあがったアート作品は、10階に展示させていただき、クロージングで紹介します。

○開催日時

2月14日（日）10：00～ 12：30

○参加者数・出演者・団体

参加者数：21名（参加者16名、出演者2名、スタッフ3名）

出演者・団体：知的障害のある方々

猫沢 八郎さん（白線画家）

浅野 日奈子さん（社会福祉法人東京都知的障害者育成会
新宿区立新宿生活実習所 所長）



○プログラム内容・成果と課題

プログラム内容

1 登壇者活動紹介

- ・浅野さんが所長を務める、新宿区立新宿生活実習所でのアート活動、日常の取り組みなどをご紹介いただきました。
- ・白線画家としてご活躍する一方、地域の小学校や幼稚園での子どもたちとのコラボレーション、また新宿生活実習所での障害のある方々のアート作品プロデュースもしていらっしゃる、猫沢八郎さんをご紹介しました。

2 みんなで作品を製作

- ・猫沢さんのご指導のもと、障害のある方、ない方、入り混じって4つのテーブルに分かれ、作品づくりに取り掛かりました。各々さまざまな形の”ピース”にクレヨンで思いおもいの絵を自由に描いたり、塗ったりしました。
- ・出来上がった一つひとつのピースを裏返し、パズルのように、みんなで組み合わせていきました。
- ・つなぎ合わせたピースをひっくり返し、作品が完成！

3 感想を一人ひとり発表していただく

- ・みんなで作品を見ながら、参加者全員に一言ずついただきました。

成果と課題

参加者全員に、障害のあるなしに関わらず、楽しんで参加していただけたので、会場全体に一体感が生まれました。お互いに声かけをし合ったり、おしゃべりをしたりしながら和やかな雰囲気で作りが進み、出来上がったものには、それぞれの想いや感情が込められていました。

成果としては、参加者が同じ時間を共有し、共に活動することで、お互いを理解し合えたことです。

そのお互いを理解し合った体験を、その場だけで終わらせず、それぞれの日頃の暮らしや地域に持ち帰っていただき、それぞれが実践していただくことを希望しています。

○参加者の声

- ・みんなで一緒に作業をしていると、障害のあるなしは関係なくなって、さらにお互いが理解し合っていく実感があった（ご自身のきょうだいに障害のある方がいらっしゃる方から）。
- ・絵を描くことが大好きなので、楽しく参加できてよかった（障害のある方から）。
- ・障害のある方々と触れ合うのは初めて。とにかく楽しかった。そして出来上がった作品は、場を共有したみんなで作り上げたものだと思うと、大変感動した。

○担当者・記録

《担当》	新部 聖子（スーパの会）
《運営サポート》	柴田 健次（東京都社会福祉協議会）
	宮崎 雅也（社会福祉法人 日野市社会福祉協議会）
	小杉 弘美（運営ボランティア）
	熊谷 紀良（東京ボランティア・市民活動センター）
《記録》	新部 聖子（スーパの会）
	柳澤 更紗（明治大学和泉ボランティアセンター）

